

広域広報

なんぶ

南部広域行政組合広報誌



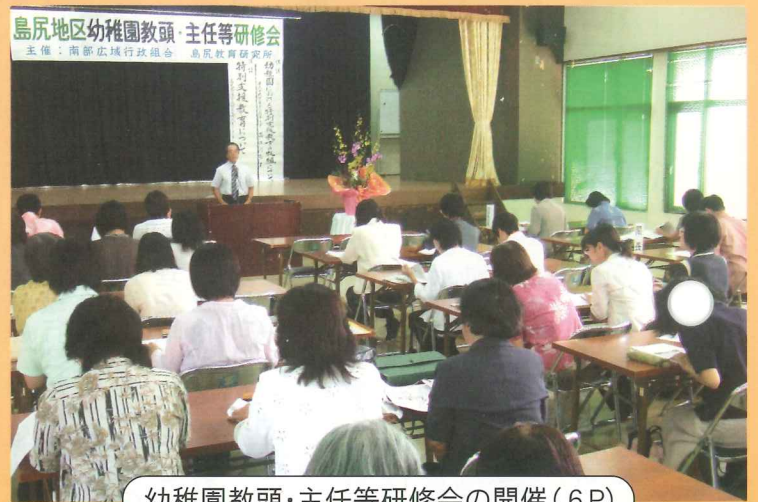
議会：平成19年度決算を承認(2P)



視聴覚メディア講習会の開催(8P)



サザン協：理事会と第1部会合同会議(4P)



幼稚園教頭・主任等研修会の開催(6P)

目次	
総務・議会.....	2・3P
最終処分場建設準備室・サザンクリーンセンター推進協議会.....	4P
教育委員会.....	5P
島尻教育研究所.....	5・6P
適応指導教室(しののめ教室).....	7P
視聴覚ライブラリー.....	8P

10月定例議会 平成18年度決算を認定

組合議員の任期満了により8月16日に臨時会を開催し、議長・副議長の選挙を行った。
10月22日の定例会では平成18年度事業報告及び決算認定、19年度一般会計補正予算を審議を行った。
11月19日には人事院勧告に伴い、職員給与の改定に関する審議を行った。議案と議決内容は次のとおり

【第2回議会】
○選挙第1号 議長の選挙
☆川平義範氏（南城市議長）が当選
○議案第10号 平成19年度南部広域行政組合一般会計補正予算（第1号）
☆原案可決



川平 善範

○選挙第2号 副議長の選挙
☆城間信三氏（西原町議長）が当選



城間 信三

【第3回議会】
○報告第2号 平成18年度南部広域行政組合事業報告

○議案第9号 平成18年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について
☆原案のとおり認定



△第4回臨時議会の様子

【第4回議会】
○議案第11号 南部広域行政組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例
☆原案可決

平成20年度 負担金を承認

11月5日に組合を構成する市町村長協議会を開催し、平成18年度事業及び決算報告のほか、平成20年度組合負担金について協議を行った。

平成20年度負担金は、前年度に引続き、平成18年1月の市町村合併により負担金が増加した市町村に対して、合併前の平成17年度負担金に据置き、増加分については財政調整基金から充当していくという内容となっている。協議内容は次のとおり。

○報告第1号 平成18年度南部広域行政組合事業報告
○報告第2号 平成18年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算報告

○協議第4号 平成20年度南部広域行政組合負担金について
☆原案承認（一覧表を3Pに掲載）

※一般廃棄物最終処分場事業については建設候補地が決定した際は、市町は負担金の増額を補正予算にて対応

○協議第5号 南部広域行政組合規約の変更について
☆原案のとおり承認

○協議第6号 糸満市が南部広域行政組合の一般廃棄物最終処分場の設置及び管理運営に関する事務の共同処理を取り止めることに伴う財産処分について
☆原案のとおり承認

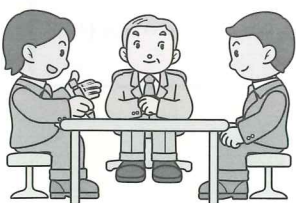
※当該共同事務を糸満市が取り止めた後、引き続き当該事業を共同処理することとなる南部広域行政組合に帰属する。

○協議第7号 糸満市が南部広域行政組合の一般廃棄物最終処分場の設置及び管理運営に関する事務の共同処理を取り止めることに伴う平成18年度決算剰余金の処理について
☆原案のとおり承認

※南部広域行政組合規約における一般廃棄物最終処分場共同事業から離脱手続き完了後に糸満市へは還付し、他の関係市町に帰属する剰余金は、南部広域行政組合が継承する。
3月31日に解散した南廃協決算剰余金の帰属額につ

【剰余金の帰属額】 単位：円

市町名	行政組合	南廃協	合計
糸満市	30,977,381	6,018,698	36,996,079
豊見城市	24,214,943	4,163,495	28,378,438
南城市	17,462,626	2,979,336	20,441,962
八重瀬町	11,775,003	1,993,815	13,768,818
与那原町	8,288,713	1,391,171	9,679,884
西原町	16,810,678	2,877,163	19,687,841
合計	109,529,344	19,423,678	128,953,022



平成20年度南部広域行政組合負担金割当表

市町村名	人口	事務局運営			一般廃棄物最終処分場			教育研究所			適応指導教室			ライブラリー			合計		
		市町村負担	財調取崩	計	市町村負担	財調取崩	計	市町村負担	財調取崩	計	市町村負担	財調取崩	計	市町村負担	財調取崩	計	市町村負担	財調取崩	
糸満市	55,816	5,373	247	5,620	-	-	8,240	414	8,654	-	-	-	-	-	-	-	13,613	661	14,274
豊見城市	52,516	4,936	372	5,308	12,837	0	7,572	604	8,176	832	65	897	2,376	180	2,556	28,553	1,221	29,774	
南城市	39,651	4,090	0	4,090	9,300	0	6,314	0	6,314	690	0	690	1,961	0	1,961	22,355	0	22,355	
八重瀬町	25,121	2,714	0	2,714	6,233	0	4,212	0	4,212	457	0	457	1,289	0	1,289	14,905	0	14,905	
与那原町	15,343	1,725	63	1,788	4,205	0	2,662	134	2,796	285	15	300	802	35	837	9,679	247	9,926	
南風原町	33,537	3,280	231	3,511	-	-	5,039	390	5,429	550	42	592	1,564	114	1,678	10,433	777	11,210	
渡嘉敷村	790	409	2	411	-	-	650	40	690	60	6	66	157	6	163	1,276	54	1,330	
座間味村	1,077	436	2	438	-	-	692	40	732	65	5	70	170	7	177	1,363	54	1,417	
粟国村	936	425	0	425	-	-	682	29	711	64	4	68	167	3	170	1,338	36	1,374	
渡名喜村	531	386	0	386	-	-	621	32	653	57	4	61	147	5	152	1,211	41	1,252	
南大東村	1,448	473	0	473	-	-	-	-	-	-	-	-	189	5	194	662	5	667	
北大東村	588	392	0	392	-	-	-	-	-	-	-	-	154	0	154	546	0	546	
西原町	33,733	3,342	187	3,529	8,725	0	8,725	-	-	-	-	-	-	-	-	12,067	187	12,254	
合計	261,087	27,981	1,104	29,085	41,300	0	41,300	36,684	1,683	38,367	3,060	141	3,201	8,976	355	9,331	118,001	3,283	121,284

(単位：千円)

【備考】

- ①人口は、平成17年国勢調査による。
- ②負担金の割合は、人口割85%・均等割15%（一般廃棄物最終処分場事業は、焼却残渣等排出量割60%・人口割30%・均等割10%）
- ③平成18年の市町村合併に伴い負担金額が増加した市町村の負担を軽減するため、一般廃棄物最終処分場事業以外は平成17年度負担金額を据置き、不足分を財政調整基金で充当する。

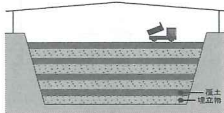
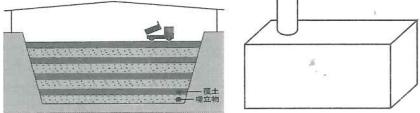

ごみ処理方式3案を理事会

施設建設選定部会（第一部会：照屋義実会長）の会議が8月22日午後2時から八重瀬町農村環境改善センターで開催された。部会ではこれまでに、6回にわたる検討会や講師を招いての全国のごみ処理施設状況の勉強会、県内外の先進地視察の成果等を踏まえ、サザン協のめざすごみ処理方式のあり方について話し合われてきた。

この日の会議では、ケース1「被覆型最終処分場」、ケース2「被覆型最終処分場+灰溶融施設」、ケース3「ガス化溶融施設」の3つの方式について検討された。

委員からは、東部・島尻の既存の施設が稼動している中で、ごみから一括して処理するケース3のガス化溶融方式は、現時点では考えられないのではないか。また、建設、ランニングコスト等を考えた場合、被覆型最終処分場の建設が望ましいが、これまでの取り組みの経緯から埋立処理する施設は、住民合意に厳しいものがあるなど、それぞれの方式について意見が交わされた。

議論の末、第一部会としては3方式の総合評価を行い、理事会に提案し、決議を仰ぐこととなった。

	ケース1	ケース2	ケース3
処理方式	被覆型最終処分場	被覆型最終処分場+灰溶融施設	ガス化溶融施設
概要			
技術的特長	被覆型最終処分場は、焼却残渣などを雨水、飛散防止等の為、処分場に屋根を付けた施設である。	ケース1の施設に灰溶融施設を加えたもの。灰溶融設備は、焼却灰を投入し熱源を加え加熱し、1300～1400℃にして灰を溶かす。	この方式は、ごみから処理するものであり、溶融後は、スラグ・メタルの他に灰溶融飛灰が生成される。

第一部会・理事会との合同会議を開催 建設への強い指導力を望む！

施設建設選定部会（照屋義実会長）は、処理方式の三案を理事会に答申した後、引き続きサザン協理事との合同会議が開かれた。古堅会長のあいさつの後、照屋会長から先に開催された部会の報告がなされた。



部会報告をする照屋義実会長
（八重瀬町農村環境改善センターにて）

照屋会長は、「近年のごみ処理技術の進歩を踏まえ、3つの方式に絞って取りまとめるに至った。建設コスト、ランニングコスト等財政面で大きな課題がある。また、糸満市の加入を含めた方向性を再度追求すべきである、との意見もあった。3つの処理方式は一長一短あり、結論を出すには極めて大きな判断が必要であり、第一部会の討議内容を踏まえて理事会で決議していただきたい」と説明した。

これを受け古堅会長は、「6回にわたる精力的な議論を踏まえた第一部会のまとめという形で受けとめたい。皆様のご報告を受けて、理事会で最終決断をしたい。」と述べた。なお、理事会の開催（処理方式の決定）は9月下旬を予定していたが、構成する一部事務組合及び市町、国県や関係機関の意見を経て開催日時の調整をして行く方向である。

組合教育委員会 平成20年度教育事業負担金審議

教育員委員会では、10月4日に定例会を開催し、平成18年度事業報告・決算のほか、19年度教育事業の中間報告を行いました。

- 報告第2号 平成18年度南部広域行政組合事業報告
- 報告第3号 平成18年度南部広域行政組合一般会計歳入歳出決算報告



△教育委員会のようす

- 議案第5号 平成19年度南部広域行政組合一般会計補正予算（第一号）
☆原案可決
- 報告第4号 平成19年度教育事業中間報告
- 議案第6号 平成20年度島尻教育研究所負担金について
☆原案可決
- 議案第7号 平成20年度適応指導教室負担金について
☆原案可決
- 議案第8号 平成20年度視聴覚ライブラリー負担金について
☆原案可決
- 報告第5号 平成20年度教育研究員募集要項について

島尻教育研究所

長期研修事業



第26期研究報告会

島尻教育研究所は今年度創立13周年を迎え、前期までに184人の修了生を送り出しました。今年も、「調査研究」「長期研修」「教育講演会」「短期研修講座」を行いました。学校教育の課題や教職員のニーズに応じて、資質向上を図り、島尻地区における教育研究の中核的存在であります。

「長期研修」においては、研究と修養の理念に基づき、教育の専門家としての確かな力量と総合的な人間力を高めるため研修を行っています。今期も4月の入所以来、幼稚園教育、国語、生活、道徳（小・

教育講演会



千々布 敏弥 先生

今年の教育講演会は、開催時期を夏休みに移して8月1、2日の2回、「コーチング」について講演会を行いました。

講師に千々布敏弥（国立教育政策教育研究所研究企画開発部総括研究官）を招聘して「教師のやる気を引き出すコーチング」と題して講演会を行いました。コーチングとは、今持っている力をさらに引き上げるためのコミュニケーションスキルのことで、カウンセリングはマイナスからゼロへ、コーチングはゼロからプラスへと高めていくという違いがあります。殆どの参加者（約200人）が、初めてのコーチングの研修ということで興味深く熱心に聴いていました。

千々布先生は、参加者と対話しながらコーチング理論とスキルを紹介しました。「傾聴」「承認」「質問」等のスキルについて具体例をあげ、課題を提示しながら参加者にペアでの体験を通して、コーチングのよさを体感する充実した講演会になりました。今年度は多くの先生方にコーチングについて紹介し学ぶことができ、実践的なコーチングのスキルについては、短期研修講座に繋げて研修を深めていきたいと考えています。

短期研修講座開催

■教育現場に活用するコーチングスキル



佐藤敬子先生の熱心な講演

8月8日、午前、午後の二回、コーチングスキルについて佐藤敬子先生は、参加者と対話しながらコーチング理論とスキルを紹介しました。「傾聴」「承認」「質問」等のスキルについて具体例をあげ、課題を提示しながら参加者にペアでの体験を通して、コーチングのよさを体感する充実した講演会になりました。今年度は多くの先生方にコーチングについて紹介し学ぶことができ、実践的なコーチングのスキルについては、短期研修講座に繋げて研修を深めていきたいと考えています。

藤敬子先生（大分県消費生活・男女共同参画プラザ主幹）を招き講演会がありました。「教育現場に役立つコーチングスキル」と題して、千々布先生の講話と併せた内容です。学校現場のニーズに応える研修として、実践的で具体的なスキルを取り入れての楽しい講話でした。



コーチングスキルの様子

参加者からは、あつという間に時間が過ぎ、具体的な例を交えてのコーチングスキルは、子どもの可能性を引き出し、コーチングの能力についてより詳しく学びたいとの声がありました。

幼稚園教育

幼稚園教育においては、西原美津江（銘苅幼稚園主任教諭）を招いて、パネルシアターの実演と制作について研修を行

いました。はじめに、パネルシアターの理論や基礎知識を学び、演じ方や制作等直接ご指導がありました。先生手作りのパネルと迫力ある実演がとて楽しく大講評でした。これからの保育がより楽しくなりますと意欲的な感想が多数ありました。



真剣に取り組む姿

幼稚園コンピュータ研修

8月13日、幼稚園の先生方を対象に東風平小学校で実施し、懇切丁寧な指導に、受講者から大講評でありました。指導講師は平良康先生（東風平小学校 長嶺学先生（北丘小学校 玉江紫乃先生（東風平小学校 コンピュータ補助員）の方々にお願いたしました。午前中は幼稚園だよりを作成したり、写真の取り込み方を練習しました。午後は、パワーポイントでの発表資料作成等の研修

を行い、休憩時間も熱心に取り組み挑戦する姿が見られました。また、指導講師の長嶺学先生からは、幼稚園ですぐに活用できるCDのプレゼントもあり、大変有意義な研修会となりました。

幼稚園教頭・主任等研修会



1階大ホール

7月25日に幼稚園教頭・主任等の研修会を行いました。毎年行われているこの研修会には、管内小学校長・指導主事、地区外の幼稚園主任等を指導講師に招聘して行っています。午前中は、四分科会に分かれ研究協議をもとに、開催されました。今年度も「幼稚園の自己点検・自己評価の取組について」再確認しながら活発な討議が行われました。午後は講話①において特別

支援教育の全般について金城馨先生（島尻養護学校特別支援コーディネーター）から分かりやすく説明がありました。講話②では幼稚園の特別支援教育について高江洲弘美先生（浦添市教育委員会指導主事）が浦添市の取組を紹介し、幼稚園での障害の理解・支援を学ぶ機会となりました。

第四回「東雲の会」

8月23日は第4回「東雲の会（修了者の会）」が盛大に行われました。第一期修了生の内間晃先生（大里南小学校）平良真也先生（栗国中学校）の研究報告の後、「ネパールを訪ねて」と題して垣花義孝先生（元豊見城中学校長）の講演がありました。参加者の中には時期を得た分りやすい研究内容であるという素晴らしい評価をいただきました。また、垣花義孝先生のネパールの講話には、改めて「教育」について考えさせられた内容で感銘をうけたとの感想がありました。

引き続き懇談会においては、歴代所長比嘉恒雄先生の乾杯の音頭の後、7、8、9期修



与那嶺永子会長挨拶

了生の進行で楽しいひとときを過ごしました。

後期教育研究員入所（第27期）

教科・領域	研究員名	所属
英語教育(小)	仲村佐代子	光洋小
教育相談(小)	新垣 隆	馬天小
教育相談(小)	知念 香	長嶺小
英語教育(中)	赤嶺 直美	高嶺中
教育相談(中)	前川 菅子	糸満中



△後期長期研究員

9月28日(金)10月2日(火)まで、「いきいき自然体験キャンプ(in 渡嘉敷)」がありました。始めの2泊3日は、渡嘉志久ビーチや無人島で水泳にシノーケル、マリンジェットにカヌーと、子ども達は海を満喫したようでした。渡嘉敷の海は本当にきれいで、魚はもろんのこと、偶然にもウミガメを見ることができました。また、夜は自炊で火おこしから始まり、みんなで協力してカレーを作りました。全部自分たちでやったこともあり、格別のおいしさでした。後半の2泊は、国立沖縄青少年交流の家で宿泊し、他の適応指導教室の生徒と交流しながら、室内運動会やグラウンドゴルフなどのスポーツ活動を行いました。夜は星座観測に、クラウン・コトラさんのピエロショーと、4泊5日間、子ども達の笑顔が絶えない、充実した楽しいキャンプでした。この体験を糧に、しのめ教



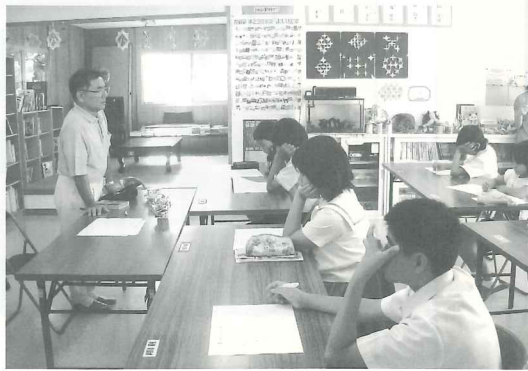
室はそれぞれの目標達成を目指して頑張っています！



当教室の児童生徒にとつて体験活動は学校復帰に向けた重要なポイントのひとつと捉えています。当教室の児童生徒の多くは、

最初から自己肯定感を低く設定しています。そのため「好きなこと」から始めさせ「出ていること」を誉め、「私もやれば出来るんだ」という「自信」をつけさせることで「心にエネルギーが充電」され、自己肯定感が高まり、それがやがて学校復帰につながっていくと考えております。

学習指導



右の写真は、学習支援ボランティアによる授業風景です。当教室の特色はこの学習指導を中心とした運営にあります。平日は、担当教諭、補助教諭2人による個別学習指導を

90分間行っています。毎週水曜日は国語、第2・4木曜日は理科の学習支援ボランティアの先生方が来室し子どもたちの学習の遅れを取り戻そうと頑張っています。子どもたちの反応として「自信がついた」「数学は学校の授業に追いついたから数学だけは教室で授業を受けてみる」等、積極的な感想が聞かれます。

日程表	
時間	活動内容
8:15~8:45	登室・諸活動
8:45~9:20	読書
9:30~11:00	学習活動
11:00~12:00	グループタイム
12:00~12:30	後片付け・清掃・退室

平成19年度入所児童生徒数	
学年	人数
小学校5年	2
中学校1年	1
中学校2年	2
中学校3年	5

視聴覚ライブラリー
機材教材の貸出について

視聴覚ライブラリーにおける資料は、組合を構成する市町村の小中学校、社会教育団体及び教育文化団体、その他館長が適当だと認めたものに対して無料で機材教材の貸出を行います

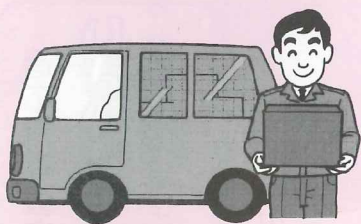
貸出対象市町村
(11市町村)

- 北大東村
- 南大東村
- 渡名喜村
- 栗国村
- 座間味村
- 渡嘉敷村
- 南風原町
- 与那原町
- 八重瀬町
- 南城市
- 豊見城市

- 開館時間 9時～16時まで
- 休館日 土・日・祝祭日

機材教材の
配送・回収やっています

管内市町村の保育園・幼稚園・小中学校、各種団体への搬送・回収を週3回（月水金）行っています。前日までに電話にて予約してください。



<http://www.nanbukouiki-okinawa.jp/10-audiovisuallibrary-index.html>



ホームページが
できました！

視聴覚ライブラリーのホームページができました。教材の検索や、機材の情報、講習会の案内等を掲載しております。

離島親子映写会を実施
(渡嘉敷村)

7月19日(木)に、渡嘉敷村教育委員会と共催で親子映写会を行いました！上映会には約70人集まり、子ども達は熱心に鑑賞していました！

今年度は、渡嘉敷村・南大東村での映写会を予定しています。



△熱心に鑑賞する子ども達

平成19年度
視聴覚メディア講習会を実施

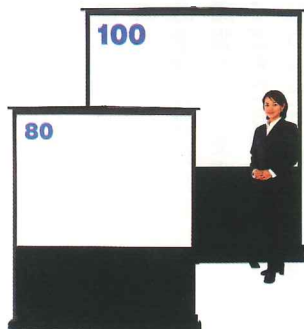
平成19年度視聴覚メディア講習会を開催いたしました。昨年に引き続き、デジタルカメラを中心に、撮影技術・パソコンヘデータの取り込み・取り込んだ画像を使って、スライドショーや挨拶状を作りました。

講習会は、2月下旬から3月上旬に、あと3回開催予定があります。



△講習会のような様子

ポータブルスクリーン



80型～210型まであります

16mm映写機



リールの回転する音が子ども達の心を刺激します

プロジェクター



面倒な接続がない、VHS/DVDプレーヤーが一体となったタイプ

視聴覚ライブラリー
貸出機材の紹介